

## 2019・小学校低学年「もぐらはすごい」

この本をえらんだりゆうは、だからです。

この本を読んで、もぐらについて あたらしい / おどろく / 知らなかった ことを知ることができました。

私は とすることを始めて知りました。

私はもぐらの ということに いちばん / とても おどろきました。

なぜなら、だからです。

もぐらのはなさきにある小さなつづつづがたくさんある「アイマー器官」は、  
というはたらきがあります。

かすかにさわっただけで

もぐらが まっくらな土の中でえさをみつける / てきからにげる / のも、この「アイマー器官」のおかげです。

もし私にこの「アイマー器官」があつたら、きっと  
じゃないかと思いました。

「アイマー器官」を  
りようできる / べんりにつかえる / やくだつ のではないかと思いました。

もぐらのこどもが大きくなってじぶんのすみかを見つげるところは、  
というきもちになりました。

私は とすることを始めて知って だと思いました。

日本には 8 種類のもぐらがいます。私の住んでいるところには がいるようです。

もぐらは土の中のみみずなどをたべるので、落ち葉のたくさんあるところに住んでいます。だから、

私は 近くの公園 / ○○○山 / △△△キャンプ場 / ◇◇◇自然公園 などにいるのではないかと思います。

もぐらがどこにいるか見たことないけれど、もしうちの庭 / 学校の校庭 の下にももぐらが住んでいたら  
だと思いました。 / というきもちになりました。

この本をよむ前は、もぐらについて でした。

でもこの本で とすることを知って  
だと思いました。

これからは、もぐらに / 森の中のいきものに / 自分の知らないどうぶつに / みちかにいるどうぶつについて  
もっと知りたい / じっさいに見てみたい / くわしくしらべてみたい / ともだちにおしえたい と思いました。